



Prime Infrastructure ユーザ インターフェイスのリファレンス

Cisco Prime Infrastructure は Web ベースのアプリケーションです。

インストール済みの Cisco Prime 製品のいずれかがライセンスによって有効化されていない場合、それらの機能のメニュー項目やオプションは Web インターフェイスに表示されません。

- [Prime Infrastructure のユーザ インターフェイスについて](#)
- [一般的な UI タスク](#)
- [検索方法](#)

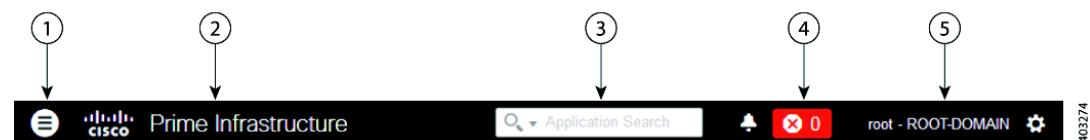
Prime Infrastructure のユーザ インターフェイスについて

初めて Prime Infrastructure にログインした際に、オーバーレイ ウィンドウにグラフィカル インターフェイスの主要コンポーネントが表示されます。このオーバーレイ ウィンドウを再度表示するには、画面右上のログイン名をクリックし、[ヘルプ (Help)] > [開始 (Getting Started)] を選択します。

ツールバー

図 A-1 は、各ページの上にあるツールバーを示しています。

図 A-1 Prime Infrastructure のツールバー



1	クリックすると、メニューが開きます。
2	クリックすると、cisco.com の Prime Infrastructure 製品ページに移動します。
3	Prime Infrastructure 内のデータを検索する際に入力します。任意のテキスト文字列を入力できます (IP アドレスやユーザ名の一部またはすべてなど)。

4	アラームの数が表示されます。色は使用しているネットワーク内の最も重大度が高いアラームに対応しています。クリックすると、アラーム概要ウィンドウにすべてのアラームが表示され、重大度別(クリティカル、メジャー、マイナー)にアラームの数が示されます。
5	割り当てられているログイン名と仮想ドメインが表示されます。ユーザ設定の変更、パスワードの変更、ログアウト、ヘルプへのアクセス、製品フィードバックの送信を行う際にクリックします。

関連項目

- [検索方法](#)

フィルタ

フィルタ機能を使用すると、Prime Infrastructure インターフェイスに関する特定の情報を表示できます。データが表形式で表示される際は常に [フィルタ (Filter)] アイコンが表示されます。次のタイプのフィルタを使用できます。

- [クイック フィルタ \(クイック フィルタの実行を参照\)](#)
- [拡張フィルタ \(拡張フィルタの実行を参照\)](#)
- [ダッシュボード フィルタ \(ダッシュボード フィルタの使用を参照\)](#)

クイック フィルタの実行

このフィルタを使用すると、フィルタを特定のテーブル列に適用することで、テーブル内のデータを絞り込むことができます。さまざまな演算子を適用するには、[拡張フィルタ (Advanced Filter)] オプションを使用します ([拡張フィルタの実行を参照](#))。

クイック フィルタを起動するには、[フィルタ (Filter)] ドロップダウンリストから [クイック フィルタ (Quick Filter)] を選択します。

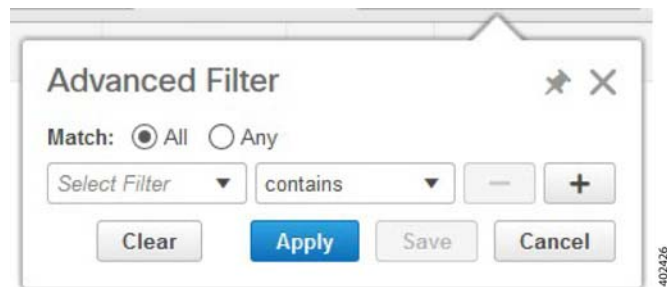
クイック フィルタをクリアするには、[フィルタ (Filter)] をクリックします。

拡張フィルタの実行

このフィルタを使用すると、Does not contain、Does not equal、Ends with、Is empty など、複数の演算子を使用してフィルタを適用することによって、表内のデータを絞り込むことができます。たとえば、ドロップダウン リストからフィルタ パターン(テーブル列名ごと)と演算子を選択できます。さらに、Prime Infrastructure データベースで使用可能なデータに基づいて、フィルタ基準を入力する必要があります。

拡張フィルタを起動するには、[フィルタ (Filter)] ドロップダウンリストから [拡張フィルタ (Advance Filter)] を選択します。

図A-2 拡張フィルタ



拡張フィルタで使用するフィルタ基準を保存するには、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1 拡張フィルタの基準を入力して、[実行 (Go)] をクリックします。フィルタ基準に基づいて、データがフィルタリングされます。
 - ステップ 2 データがフィルタリングされたら、[保存 (Save)] アイコンをクリックします。
 - ステップ 3 [プリセットフィルタの保存 (Save Preset Filter)] ダイアログボックスで、プリセット フィルタの名前を入力して、[保存 (Save)] をクリックします。
-

ダッシュボードフィルタの使用

[フィルタ (Filters)] ツールバーを使用すると、ダッシュボードのすべてのダッシュレットに表示するデータを絞り込むことができます。このツールバーを使用し、以下の基準によってダッシュレットのデータをフィルタリングできます。

- [時間内 (Time frame)]: いずれかのプリセット オプションを選択するか、カスタムのタイムフレームを作成します。
- [アプリケーション (Applications)]: 1 つのサービス、最大 10 個のアプリケーション、またはすべてのアプリケーションを選択します。
- [ネットワーク対応 (Network Aware)]: 有線、ワイヤレス、またはすべてのネットワークを選択します。
- [サイト (Site)]: 1 つのサイト、未割り当てサイト、またはすべてのサイトを選択します。

図A-3 ダッシュボードの [フィルタ (Filters)] ツールバー



ダッシュボードのすべてのダッシュレット向けにデータをフィルタリングするには、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1 ダッシュボードを開きます (例: [ダッシュボード (Dashboard)] > [概要 (Overview)] > [一般 (General)] を選択)。
 - ステップ 2 [フィルタ (Filters)] ツールバーで任意のオプションの設定を変更し、[実行 (Go)] をクリックします。
-

データ入力機能

大部分のユーザ インターフェイスには、チェックボックスに加えて、ドロップダウン リストとデータ入力フィールドがあり、Prime Infrastructure ではいくつかの専用データ入力機能を使用されます。これらの機能の目的はネットワークのビューを可能な限り整えることですが、ユーザは、必要に応じて、独自の設定を追加、更新、保存することができます。これらの専用データ入力機能は、次のとおりです。

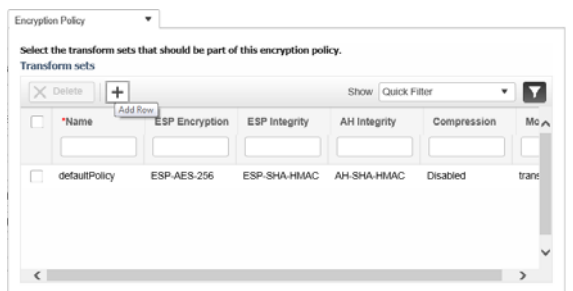
- [編集テーブル](#)
- [データ ポップアップ](#)

編集テーブル

Prime Infrastructure では、サイト、デバイス、イベントのリストなど、テーブルを使用してさまざまな種類のデータが表示されます。スプレッドシートと同様に、データは行と列に配置されます。

編集テーブルは他のテーブルとは異なり、そこに含まれているデータを追加、編集、削除することができます。一部の編集テーブルでは、フィルタにアクセスすることもできます([フィルタ](#)を参照)。通常、編集テーブルは、チェックボックスをオンにすると開くデータ ポップアップに表示されます。

図A-4 編集テーブル



編集テーブルの使用方法:

- 編集テーブルに新規行を追加するには:
[+] アイコンをクリックし、新しい行のフィールドに入力して [保存 (Save)] をクリックします。
- 編集テーブルから 1 つ以上の既存の行を削除するには:
行ヘッダーのチェックボックス (各行の左端) を選択して、[削除 (Delete)] をクリックします。
- 編集テーブルの行でフィールドのエントリを更新するには:
行ヘッダーまたはフィールドをクリックし、内容を編集して [保存 (Save)] をクリックします。

データ ポップアップ

データ ポップアップは、チェックボックス、固定フィールド、その他のデータ入力機能に関連するウィンドウです。機能を選択すると自動的に表示されるので、機能に関連するデータを表示したり更新することができます。データ ポップアップには、チェックボックス、ドロップダウン リスト、データ入力フィールドに加えて、編集テーブルが含まれていることがあります。

データ ポップアップを使用するには:

1. データ ポップアップを開く機能(固定フィールドやチェックボックスなど)を選択します。
2. 関連するポップアップが表示されるので、必要に応じてフィールドを表示または更新します。
3. 作業が完了したら、データ ポップアップの外側をクリックします。新しい情報を入力したり、既存の情報を変更したりした場合は、変更内容が自動的に保存されます。

関連項目

- [編集テーブル](#)

インタラクティブ グラフ

Prime Infrastructure にはインタラクティブな折れ線グラフ、面積グラフ、円グラフ、積み重ね棒グラフがあり、時間ベースと非時間ベースの両方のデータを表示できます。インタラクティブ グラフには次の機能が含まれています。

- 自動更新のサポート: グラフは事前に設定された間隔で自動的に更新されます。
- 次の2つのグラフ ビューがあります。
 - グラフ(チャート)ビュー(デフォルト)
 - テーブル(グリッド)ビュー
- グラフの拡大

関連項目

- [インタラクティブ グラフの使用](#)
- [時間ベースのグラフ](#)

インタラクティブ グラフの使用

次の表は、インタラクティブ グラフの使用方法の要約を示しています。

表 A-1 インタラクティブ グラフの使用

手順は次のとおりです。	操作
グラフ ボタンを使ってヘルプを参照する	ボタンの上にマウス カーソルを移動します。Prime Infrastructure によって、ポップアップ ツールチップにボタンの説明が表示されます。
データをグラフまたはチャートとして表示する	[チャートで表示(View in Chart)] をクリックします。
グリッドまたは表形式でデータを表示する	[グリッドで表示(View in Grid)] をクリックします。
グラフを拡大する	グラフの右下にあるボタンをクリックします。Prime Infrastructure によって、別のページに拡大グラフが表示されます。新しいページでは [View in Chart(チャートで表示)] と [グリッドで表示(View in Grid)] 切り替えボタンを使用できるので、表示する拡大グラフの種類を変更できます。

関連項目

- [インタラクティブ グラフ](#)
- [時間ベースのグラフ](#)

時間ベースのグラフ

一部のグラフには時間ベースのデータが表示されます。時間ベースのグラフの場合、Prime Infrastructure ではグラフの上にリンク バーが表示されます。リンク バーには、チャートのデータタイプに応じた標準のタイムフレーム(直近 6 時間、1 日など)を示す一連のリンクが含まれています。これらのタイムフレーム リンクのいずれかを選択すると、そのタイムフレームのデータが取得され、グラフが更新されてそのタイムフレームのデータのみが表示されます。

時間ベースのグラフに表示されるタイムフレーム リンクには、以下のオプションがあります。

- [6h]: 現在の時刻から最近の 6 時間分のデータを表します。データは、現在のデータベース テーブルから収集されます。
- [1d]: 現在の時刻から最近の 1 日 (24 時間) 分のデータを表します。データは、現在のデータベース テーブルから収集されます。
- [1w]: 現在の時刻から最近の 1 週間 (7 日間) 分のデータを表します。データは、時間単位で集積したテーブルから収集されます。
- [2w]: 現在の時刻から最近の 2 週間分のデータを表します。データは、時間単位で集積したテーブルから収集されます。
- [4w]: 現在の時刻から最近の 4 週間分のデータを表します。データは、時間単位で集積したテーブルから収集されます。
- [3m]: 現在の時刻から最近の 3 ヶ月間分のデータを表します。データは、日単位で集積したテーブルから収集されます。
- [6m]: 現在の時刻から最近の 6 ヶ月間分のデータを表します。データは、週単位で集積したテーブルから収集されます。
- [1y]: 現在の時刻から最近の 1 年間 (12 ヶ月間) 分のデータを表します。データは、週単位で集積したテーブルから収集されます。
- [カスタム (Custom)]: ユーザが選択した期間。開始日時と終了日時を設定できます。現在のデータを使用するのか、または時間単位、日単位、週単位で集積したデータ元を使用するのかは、選択した開始日によって変わります。

時間ベースのグラフに表示される集約データのデフォルトの最大および最小保持期間は、Prime Infrastructure の管理者によって制御されます。詳細については、関連項目の「履歴データの保持について」を参照してください。

関連項目

- [インタラクティブ グラフ](#)
- [インタラクティブ グラフの使用](#)
- [履歴データの保持について \[英語\]](#)

一般的な UI タスク

Prime Infrastructure のほぼすべてのウィンドウから、次のアクションを実行できます。

- [パスワードの変更](#)
- [アクティブ ドメインの変更](#)
- [ホームページの設定](#)
- [ユーザ プリファレンスの変更](#)
- [\[デバイス 360 度ビュー \(Device 360° View\)\] からのデバイスの詳細の取得](#)
- [\[ユーザ 360 度ビュー \(User 360° View\)\] からのユーザの詳細の取得](#)
- [ヘルプの表示](#)

パスワードの変更

-
- | | |
|--------|---|
| ステップ 1 | 画面右上のログイン名をクリックし、[パスワードの変更 (Change Password)] を選択します。 |
| ステップ 2 | 情報アイコンをクリックして、パスワード ポリシーを確認します。 |
| ステップ 3 | 説明に従って新しいパスワードを入力し、[保存 (Save)] をクリックします。 |
-

アクティブ ドメインの変更

-
- | | |
|--------|--|
| ステップ 1 | 画面右上のログイン名をクリックし、[仮想ドメイン (Virtual Domain)] を選択します。 |
| ステップ 2 | メンバとして属しているドメインのリストから、ドメインを選択します。 |
-

ホームページの設定

-
- | | |
|--------|--|
| ステップ 1 | ホームページとして設定するページに移動します。 |
| ステップ 2 | 画面右上のログイン名をクリックし、[現在のページをホームページとして設定 (Set Current Page as Home)] を選択します。 |
-

ユーザプリファレンスの変更

リスト ページに表示する項目の数、マップの設定、アイドル タイムアウトの設定、およびアラーム表示オプションを変更できます。

- ステップ 1** 画面右上のログイン名をクリックし、[マイプリファレンス (My Preferences)] を選択します。
- ステップ 2** 設定を変更し、[保存 (Save)] をクリックします。

[デバイス 360 度ビュー (Device 360° View)] からのデバイスの詳細の取得

[デバイス 360 度ビュー (Device 360° View)] には、デバイス ステータス、インターフェイス ステータス、関連するデバイス情報など、詳細なデバイス情報が表示されます。デバイスの IP アドレスが表示されるほぼすべてのページで [デバイス 360 度ビュー (Device 360° View)] を表示できます。

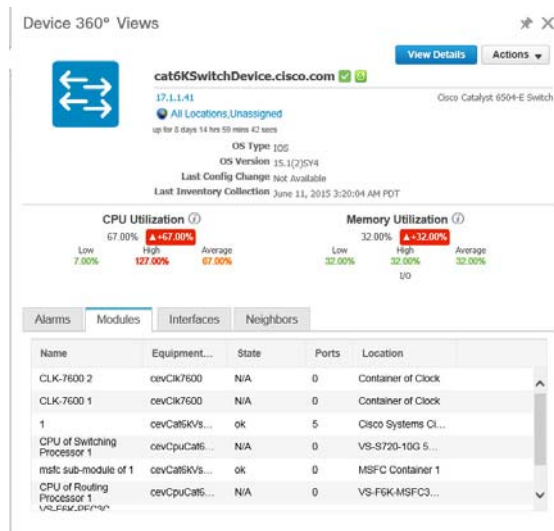
デバイスの 360 度ビューを起動するには、デバイスの IP アドレスの横にある情報アイコンをクリックします。

図 A-5 は [デバイス 360 度ビュー (Device 360° View)] の一例を示しています。



(注) [デバイス 360 度ビュー (Device 360° View)] に表示される機能は、デバイス タイプによって異なります。

図 A-5 [デバイス 360 度ビュー (Device 360° View)] の例



表A-2 [デバイス 360 度ビュー (Device 360° View)] の機能

[デバイス 360 度ビュー (Device 360° View)] の機能	説明
デバイスのステータス (Device status)	デバイスが到達可能かどうか、管理されているかどうか、および Prime Infrastructure データベースと同期されているかどうかを示します。
[アクション (Action)] ドロップダウン リスト	<p>[デバイス 360 度ビュー (Device 360° View)] の右上にある [アクション (Action)] ドロップダウン リストから、次のいずれかのオプションを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> [アラームブラウザ (Alarm Browser)]: アラーム ブラウザを起動します。詳細については、アラームのモニタリングを参照してください。 [デバイスの詳細 (Device Details)]: デバイスの詳細を表示します。 [サポートコミュニティ (Support Community)]: シスコ サポート コミュニティを起動します。シスコ サポート コミュニティの起動を参照してください。 [サポート要求 (Support Request)]: サポート ケースを開くことができます。詳細については、サポート ケースを開くを参照してください。 [Ping]: デバイスを ping できます。 [Traceroute]: デバイスに対して traceroute を実行できます。 [デバイスへの接続 (Connect to Device)]: Telnet、SSH、HTTP、および HTTPS プロトコルを使用してデバイスに接続できます。 <p>(注) 360 度ビューの Telnet や SSH をクライアント ブラウザで動作させるには、いくつかの前提条件があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> Firefox: 外部アプリケーション (Putty for Telnet、SSH 用 FireSSH アドオンなど) を使用します。 Internet Explorer (IE) および Google Chrome: Telnet および SSH の Regedit エントリを追加します (関連項目を参照してください)。
アラーム (Alarms)	アラーム ステータス、タイム スタンプ、およびカテゴリなど、デバイスのアラームがリストされます。
モジュール (Modules)	デバイス モジュールと、それらの名前、タイプ、状態、およびポートがリストされます。
インターフェイス (Interfaces)	デバイス インターフェイスと、各インターフェイスの上位 3 つのアプリケーションがリストされます。
ネイバー (Neighbors)	ネイバーのインデックス、ポート、デュプレックス ステータス、およびシステム名など、デバイスのネイバーがリストされます。
ワイヤレス インターフェイス (Wireless Interfaces)	インターフェイス名、関連する WLAN、VLAN ID、IP アドレスがリストされます。
WLAN	WLAN 名、SSID、セキュリティ ポリシー、およびクライアント数がリストされます。

関連項目

- [Internet Explorer/Google Chrome で Telnet と SSH を使用してデバイスを接続する](#)

Internet Explorer/Google Chrome で Telnet と SSH を使用してデバイスを接続する

はじめる前に

Internet Explorer および Chrome に Telnet と SSH のブラウザ プラグインがインストールされていることを確認します。

Internet Explorer での Telnet クライアント機能の有効化

32 ビット Internet Explorer を搭載した 64 ビット Windows オペレーティング システムで Telnet クライアント機能を有効にするには、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1** コントロール パネルで Telnet クライアントを開きます。
- [コントロールパネル(Control Panel)] に移動します。
 - [プログラムと機能(Programs And Features)] をクリックします。
 - 左側のペインで [Windows の機能の有効化または無効化(Turn Windows features on or off)] をクリックします。
 - [Telnet クライアント(Telnet Client)] チェックボックスをオンにします。
 - [OK] をクリックします。
- ステップ 2** Windows ディレクトリの System32 から同じディレクトリの SysWOW64 に、telnet.exe の 64 ビットバージョンをコピーします。
- ステップ 3** 32 ビットバージョンの Internet Explorer の次のレジストリ キーを追加します。

- regedit.exe を開き、次のレジストリキーに移動します。

```
HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Wow6432Node\Microsoft\Internet Explorer\MAIN\FeatureControl\FEATURE_DISABLE_TELNET_PROTOCOL
```

- キーをバックアップする場合は、FEATURE_DISABLE_TELNET_PROTOCOL を右クリックし、[エクスポート(export)] を選択します。復元が必要になった際に簡単に検索できる場所にキーを保存します。



(注) このキーが存在していない場合は、上記で指定されているキーを追加してください。

- FEATURE_DISABLE_TELNET_PROTOCOL を再び右クリックして [新規(New)] を選択し、ドロップダウン リストから [DWORD(32 ビット)値(DWORD (32-bit) Value)] を選択します。
 - 右側のペインで、[新規の値(New Value)] を iexplore.exe に名前変更します。
 - iexplore.exe の値が「0x00000000」であることを確認し、regedit.exe を終了します。
- ステップ 4** System32\en-US\telnet.exe.mui ファイルを SysWOW64\en-US フォルダにコピーします。
-

SSH の有効化

Internet Explorer で SSH セッションを開始するには、次の手順を実行します。

ステップ 1 以下の内容を含む ssh.reg というファイルを作成します。

```
REGEDIT4
[HKEY_CLASSES_ROOT\ssh]
@="URL:ssh Protocol"
"URL Protocol"=""
[HKEY_CLASSES_ROOT\ssh\shell]
[HKEY_CLASSES_ROOT\ssh\shell\open]
[HKEY_CLASSES_ROOT\ssh\shell\open\command]
@="\"C:\\Program Files\\putty\\putty.exe\" \"%1\""
```

ステップ 2 このファイルを実行して Windows レジストリに情報を追加します。



(注) [Internet Explorer](#) での [Telnet クライアント機能の有効化](#)や [SSH の有効化](#)を実行すると、[Google Chrome](#) にも変更が反映されます。

関連項目

- [\[デバイス 360 度ビュー \(Device 360° View\)\] からのデバイスの詳細の取得](#)

[ユーザ 360 度ビュー (User 360° View)] からのユーザの詳細の取得


[ユーザ 360 度ビュー (User 360° View)] には、エンド ユーザに関する以下の詳細情報が表示されます。

- エンド ユーザのネットワーク接続とアソシエーション
- 認証と認可
- ユーザのネットワーク接続に関連するネットワーク デバイスの潜在的な問題
- アプリケーション関連の問題
- 広範囲のネットワークにおけるその他の問題

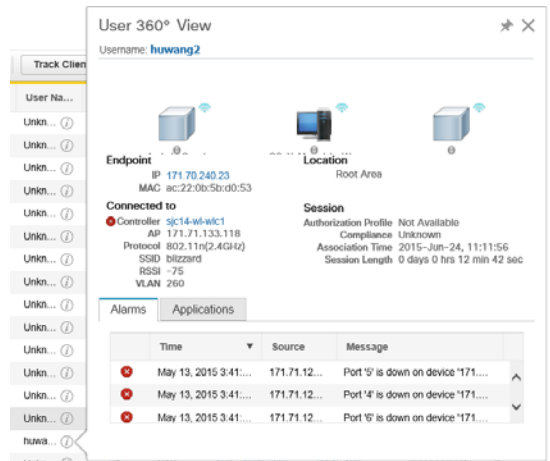
ユーザの 360 度ビューにアクセスするには、次の手順を実行します。

ステップ 1 [モニタ (Monitor)] > [モニタリングツール (Monitoring Tools)] > [クライアントおよびユーザ (Clients and Users)] を選択します。

ステップ 2 [ユーザ名 (User Name)] 列のユーザ名の横にある展開アイコンをクリックします。[ユーザ 360 度ビュー (User 360° View)] を表示できます。

 [A-6](#) は [ユーザ 360 度ビュー (User 360° View)] の一例を示しています。

図A-6 [ユーザ360 度ビュー (User 360° View)] の例



表A-3 [ユーザ360 度ビュー (User 360° View)] の機能

[ユーザ 360 度ビュー (User 360° View)] の機能	説明
ユーザ情報 (User information)	エンド ユーザに関する重要な情報を表示します。
エンドポイント (Endpoint)	エンドポイント情報を表示します。この機能を使用するには、ISE サーバと統合する必要があります。
接続先 (Connected To)	ネットワーク接続情報を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> ネットワーク デバイス (アクセス スイッチまたは AP + コントローラ): デバイスに関連するアクティブ アラームの発生と重大度を視覚的に表示します。 接続ポート: ポートに関連するアクティブ アラームの発生と重大度を視覚的に表示します。
参照先セッション (Location Session)	ネットワーク セッション情報を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> 場所は Prime Infrastructure 階層での位置です。 アクセス ポリシー (ISE 許可プロファイル) 認証に関連するエラーの発生を視覚的に表示します。この機能を使用するには、ISE サーバと統合する必要があります。 エンドポイントのコンプライアンス ステータス。この機能を使用するには、ISE サーバと統合する必要があります。 セッションの開始時刻と終了時刻
アラーム (Alarms)	ネットワーク セッションに関連するアラームと統計情報のリストを表示するには、[アラーム (Alarms)] タブをクリックします。
アプリケーション (Applications)	ネットワーク セッションに関連するアプリケーションと統計情報のリストを表示するには、[アプリケーション (Applications)] タブをクリックします。セッション情報 (Netflow/NAM データ、保証ライセンス) が使用可能である必要があります。

ヘルプの表示

(画面右上の)ドメイン名の横にあるホイールをクリックして [コンテキストヘルプ (Contextual Help)] を選択すると、オンライン ヘルプにアクセスできます。

検索方法

Prime Infrastructure には次の検索方法が用意されています。

- アプリケーションの検索(アプリケーションの検索の実行を参照)。
- 高度な検索(高度な検索の実行を参照)。
- 保存されている検索(保存した検索の実行を参照)。

検索オプションには、Prime Infrastructure 内のどのページからもアクセスできます。

アプリケーションの検索の実行

Prime Infrastructure 内ですばやくデータを検索するために、任意のテキスト文字列を入力できます。たとえば、クライアントを検索する場合は、IP アドレスやユーザ名の一部またはすべてを入力できます。

-
- | | |
|--------|--|
| ステップ 1 | 画面右上の [検索(Search)] アイコンをクリックします。 |
| ステップ 2 | [検索(Search)] テキスト ボックスに検索文字列を入力し、[Prime Infrastructure の検索(Search Prime Infrastructure)] をクリックします。 |
| ステップ 3 | [リストの表示(View List)] をクリックして、[モニタ (Monitor)] ページまたは [設定 (Configuration)] ページから一致するデバイスを表示します。 |
-

高度な検索の実行

Prime Infrastructure 内でさらに絞り込んだ検索を行うには、次の手順を実行します。

-
- | | |
|--------|--|
| ステップ 1 | 画面右上の [検索(Search)] アイコンをクリックします。 |
| ステップ 2 | [検索(Search)] プルダウン メニューから、[高度な検索 (Advanced Search)] を選択します。 |
| ステップ 3 | [高度な検索 (Advanced Search)] ダイアログボックスで、[検索カテゴリ (Search Category)] ドロップダウン リストからカテゴリを選択します。 |
| ステップ 4 | 検索に適用できるすべてのフィルタまたはパラメータを選択します。 |



(注) 検索パラメータは、選択したカテゴリによって異なります。

-
- | | |
|--------|---|
| ステップ 5 | 検索を保存するには、[検索の保存 (Save Search)] チェックボックスを選択して、テキストボックスに検索の一意の名前を入力し、[実行 (Go)] をクリックします。 |
|--------|---|
-



(注) 検索結果ページに表示する情報を指定できます。詳細については、を参照してください。

検索カテゴリは以下のとおりです。

- アクセス ポイント(アクセス ポイントの検索を参照)
- アラーム(アラームの検索を参照)
- クライアント(クライアントの検索を参照)
- チョークポイント(チョークポイントの検索を参照)
- 設定バージョン(設定バージョンの検索を参照)
- コントローラ ライセンス(コントローラ ライセンスの検索を参照)
- コントローラ(コントローラの検索を参照)
- デバイス タイプ(デバイス タイプの検索を参照)
- イベント(イベントの検索を参照)
- 干渉(干渉の検索を参照)
- ジョブ(ジョブの検索を参照)
- マップ(マップの検索を参照)
- 不正クライアント(不正クライアントの検索を参照)
- 回避クライアント(回避クライアントの検索を参照)
- スイッチ(スイッチの検索を参照)
- タグ(タグの検索を参照)
- Wi-Fi TDOA 受信機(Wi-Fi TDOA 受信機の検索を参照)

アラームの検索

アラームの高度な検索を実行する際に、次のパラメータを設定できます(表 A-4 を参照)。

表 A-4 アラーム検索フィールド

フィールド	オプション
重大度 (Severity)	[すべての重大度 (All Severities)], [クリティカル (Critical)], [メジャー (Major)], [マイナー (Minor)], [警告 (Warning)], または [クリア (Clear)] を選択します。
アラームカテゴリ (Alarm Category)	[すべてのタイプ (All Types)], [システム (System)], [アクセス ポイント (Access Points)], [コントローラ (Controllers)], [カバレッジ ホール (Coverage Hole)], [設定監査 (Config Audit)], [モビリティ サービス (Mobility Service)], [コンテキスト認識型通知 (Context Aware Notifications)], [SE により検出された干渉 (SE Detected Interferers)], [メッシュ リンク (Mesh Links)], [不正 AP (Rogue AP)], [アドホック不正 (Adhoc Rogue)], [セキュリティ (Security)], [パフォーマンス (Performance)], [アプリケーション パフォーマンス (Application Performance)], [ルータ (Routers)], [スイッチとハブ (Switches and Hubs)] または [Cisco インターフェイスおよびモジュール (Cisco Interfaces and Modules)] を選択します。

表A-4 アラーム検索フィールド(続き)

フィールド	オプション
条件 (Condition)	ドロップダウン リストを使用し、条件を選択します。また、このドロップダウン リストに入力して、条件を入力することもできます。 (注) アラーム カテゴリを選択した場合は、このドロップダウン リストには、そのカテゴリで使用可能な条件が含まれています。
期間 (Time Period)	[随時 (Any Time)] から [過去 7 日 (Last 7 days)] までの時間増分を選択します。デフォルトは [随時 (Any Time)] です。
承認済み状態 (Acknowledged State)	承認済み状態または未承認状態のアラームを検索するには、このチェックボックスを選択します。このチェックボックスを選択しない場合、承認済み状態は検索基準の考慮に入れられません。
割り当て済み状態 (Assigned State)	割り当て済み状態または未割り当て状態のアラームを検索するか、所有者名によってアラームを検索するには、このチェックボックスを選択します。このチェックボックスを選択しない場合は、割り当て済み状態は検索基準に含まれません。 (注) [割り当て済み状態 (Assigned State)] > [所有者名 (Owner Name)] を選択する場合は、使用可能なテキスト ボックスに所有者名を入力します。

ジョブの検索

ジョブの高度な検索を実行する際に、次のパラメータを設定できます(表 A-5 を参照)。

表A-5 ジョブ検索フィールド

フィールド	オプション
ジョブ名 (Job Name)	検索するジョブの名前を入力します。
ジョブ タイプ (Job Type)	検索するジョブのタイプを入力します。
ジョブのステータス (Job Status)	[すべての状態 (All Status)], [完了 (Completed)], または [スケジュール済み (Scheduled)] を選択します。

詳細については、[ジョブのモニタリング](#)を参照してください。



(注) [ジョブ名 (Job Name)] と [ジョブタイプ (Job Type)] テキスト ボックスでは、ワイルドカード(*、? など)を使用して検索を絞り込んだり、検索範囲を広げたりすることができます。

アクセスポイントの検索

アクセスポイントの高度な検索を実行する際に、次のパラメータを設定できます(表 A-6 を参照)。

表 A-6 アクセスポイント検索フィールド

フィールド	オプション
検索方法 (Search By)	[すべての AP (All APs)], [基礎無線 AC (Base Radio MAC)], [イーサネット MAC (Ethernet MAC)], [AP 名 (AP Name)], [AP モデル (AP Model)], [AP ロケーション (AP Location)], [IP アドレス (IP Address)], [デバイス名 (Device Name)], [コントローラ IP (Controller IP)], [関連付けられていないすべての AP (All Unassociated APs)], [床面積 (Floor Area)], [屋外区域 (Outdoor Area)], [割り当てられていない AP (Unassigned APs)], または [アラーム (Alarms)] を選択します。 (注) 検索パラメータは、選択したカテゴリによって変わることがあります。適用可能な場合は、[検索条件 (Search By)] カテゴリの特定に役立つよう、追加のパラメータまたはフィルタ情報を入力します。たとえば、[床面積 (Floor Area)] を選択した場合は、キャンパスとビルディングも特定する必要があります。または、[アラーム (Alarms)] を選択した場合は、アラームの重大度に基づいてアクセスポイントを検索できます。
AP タイプ (AP Type)	[すべてのタイプ (All Types)], [LWAPP], または [自律 (Autonomous)] を選択します。
AP モード (AP Mode)	[すべてのモード (All Modes)], [ローカル (Local)], [モニタ (Monitor)], [FlexConnect], [不正検出 (Rogue Detector)], [スニファ (Sniffer)], [ブリッジ (Bridge)], または [SE 接続 (SE-Connect)] を選択します。
無線タイプ (Radio Type)	[すべての無線 (All Radios)], [802.11a], または [802.11b/g] を選択します。
802.11n サポート (802.11n Support)	802.11n がサポートされるアクセスポイントを検索するには、このチェックボックスを選択します。
OfficeExtend AP が有効 (OfficeExtend AP Enabled)	Office Extend アクセスポイントを検索するには、このチェックボックスを選択します。
CleanAir サポート (CleanAir Support)	CleanAir をサポートするアクセスポイントを検索するには、このチェックボックスを選択します。
CleanAir が有効 (CleanAir Enabled)	CleanAir がサポートされ、有効になっているアクセスポイントを検索するには、このチェックボックスを選択します。
ページあたりの項目数 (Items per page)	検索結果ページに表示するレコードの数を設定します。

コントローラ ライセンスの検索

コントローラ ライセンスの高度な検索の実行時に、次のパラメータを設定できます(表 A-7 を参照)。

表A-7 コントローラ ライセンス検索フィールド

フィールド	オプション
コントローラ名 (Controller Name)	ライセンス検索に関連付けられたコントローラ名を入力します。
機能名 (Feature Name)	ライセンスティアに応じて、[すべて (All)]、[プラス (Plus)]、または [基本 (Base)] を選択します。
タイプ (Type)	[すべて (All)]、[デモ (Demo)]、[拡張 (Extension)]、[猶予期間 (Grace Period)]、または [無期限 (Permanent)] を選択します。
使用済みの割合 (%) - この値以上 (% Used or Greater)	このドロップダウン リストからライセンスの使用パーセンテージを選択します。0 ~ 100 の範囲のパーセント値を使用します。
ページあたりの項目数 (Items per page)	検索結果ページに表示するレコードの数を設定します。

コントローラの検索

コントローラの高度な検索を実行する際に、次のパラメータを設定できます(表 A-8 を参照)。

表A-8 コントローラ検索フィールド

フィールド	オプション
コントローラの検索条件 (Search for controller by)	[すべてのコントローラ (All Controllers)]、[IP アドレス (IP Address)]、または [コントローラ名 (Controller Name)] を選択します。 (注) 検索パラメータは、選択したカテゴリによって変わることがあります。適用可能な場合は、[検索条件 (Search By)] カテゴリの特定に役立つよう、追加のパラメータまたはフィルタ情報を入力します。
コントローラ IP アドレスの入力 (Enter Controller IP Address)	このテキスト ボックスは、[コントローラの検索条件 (Search for controller by)] ドロップダウン リストから [IP アドレス (IP Address)] を選択した場合のみ表示されます。
コントローラ名の入力 (Enter Controller Name)	このテキスト ボックスは、[コントローラの検索条件 (Search for controller by)] ドロップダウン リストから [コントローラ名 (Controller Name)] を選択した場合のみ表示されます。
監査ステータス (Audit Status)	ドロップダウン リストから、次のいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> [すべての状態 (All Status)] [不一致 (Mismatch)]: 最新の監査で、Prime Infrastructure とコントローラ間の設定の相違が検出された。 [同一 (Identical)]: 最新の監査で、設定の相違は検出されなかった。 [使用不可 (Not Available)]: 監査ステータスは使用できない。
ページあたりの項目数 (Items per page)	検索結果ページに表示するレコードの数を設定します。

検索方法

スイッチの検索

スイッチの高度な検索の実行時に、次のパラメータを設定できます(表 A-9 を参照)。

表 A-9 スイッチ検索フィールド

フィールド	オプション
スイッチの検索条件 (Search for Switches by)	[すべてのスイッチ (All Switches)], [IP アドレス (IP Address)], または [スイッチ名 (Switch Name)] を選択します。ワイルドカード(*)を使用できます。たとえば, [IP アドレス (IP Address)] を選択して「172*」と入力すると、Prime Infrastructure は IP アドレス 172 で始まるすべてのスイッチを返します。
ページあたりの項目数 (Items per page)	検索結果ページに表示するレコードの数を設定します。

クライアントの検索

クライアントの高度な検索を実行する際に、次のパラメータを設定できます(表 A-10 を参照)。

表 A-10 クライアント検索フィールド

フィールド	オプション
メディア タイプ (Media Type)	[すべて (All)], [ワイヤレスクライアント (Wireless Clients)], または [有線クライアント (Wired Clients)] を選択します。
ワイヤレスタイプ (Wireless Type)	[メディア タイプ (Media Type)] リストから [ワイヤレス クライアント (Wireless Clients)] を選択した場合は、[すべて (All)], [軽量 (Lightweight)], または [自律型クライアント (Autonomous Clients)] を選択します。
検索方法 (Search By)	[すべてのクライアント (All Clients)], [すべての除外クライアント (All Excluded Clients)], [すべての有線クライアント (All Wired Clients)], [すべてのログインしたゲスト (All Logged in Guests)], [IP アドレス (IP Address)], [ユーザ名 (User Name)], [MAC アドレス (MAC Address)], [アセット名 (Asset Name)], [アセット カテゴリ (Asset Category)], [アセット グループ (Asset Group)], [AP 名 (AP Name)], [コントローラ名 (Controller Name)], [コントローラ IP (Controller IP)], [MSE IP], [フロア領域 (Floor Area)], [屋外領域 (Outdoor Area)], [スイッチ名 (Switch Name)], または [スイッチタイプ (Switch Type)] を選択します。 (注) 検索パラメータは、選択したカテゴリによって変わることがあります。適用可能な場合は、[検索条件 (Search By)] カテゴリの特定に役立つよう、追加のパラメータまたはフィルタ情報を入力します。たとえば、[IP アドレス (IP address)] を選択した場合は、この検索の特定の IP アドレスを入力する必要があります。
クライアントの 検出元 (Clients Detected By)	[Prime Infrastructure] または [MSE (MSEs)] を選択します。 [Prime Infrastructure により検知されたクライアント (Clients detected by Prime Infrastructure)]: Prime Infrastructure データベースに格納されたクライアント。 [MSE により検知されたクライアント (Clients detected by MSE)]: コントローラと直接通信する MSE で Context Aware Service によって検索されるクライアント。
クライアント状態 (Client States)	[すべての状態 (All States)], [アイドル (Idle)], [認証済み (Authenticated)], [関連付け (Associated)], [プローブ中 (Probing)], または [除外 (Excluded)] を選択します。
ポスチャステータス (Posture Status)	デバイスがクリーンであるかどうかを確認するには、[すべて (All)], [不明 (Unknown)], [合格 (Passed)], [失敗 (Failed)] を選択します。

表A-10 クライアント検索フィールド(続き)

フィールド	オプション
無線帯域による制限 (Restrict By Radio Band)	特定の無線帯域を示すには、このチェックボックスを選択します。ドロップダウン リストから [5 GHz] または [2.4 GHz] を選択します。
プロトコルによる制限 (Restrict By Protocol)	特定のプロトコルを示すには、このチェックボックスを選択します。ドロップダウン リストから [802.11a]、[802.11b]、[802.11g]、[802.11n]、または [モバイル (Mobile)] を選択します。
SSID	このチェックボックスを選択して、ドロップダウン リストから適切な SSID を選択します。
プロファイル (Profile)	<p>選択したプロファイルに関連するすべてのクライアントをリストするには、このチェックボックスを選択します。</p> <p>(注) チェックボックスの選択後に、ドロップダウン リストから適切なプロファイルを選択します。</p>
CCX 互換 (CCX Compatible)	<p>Cisco Client Extensions との互換性があるクライアントを検索するには、このチェックボックスを選択します。</p> <p>(注) チェックボックスの選択後に、ドロップダウン リストから、適切なバージョンとして [すべてのバージョン (All Versions)] または [サポート対象外 (Not Supported)] を選択します。</p>
E2E 互換 (E2E Compatible)	<p>エンドツーエンドの互換性のあるクライアントを検索するには、このチェックボックスを選択します。</p> <p>(注) チェックボックスの選択後に、ドロップダウン リストから、適切なバージョンとして [すべてのバージョン (All Versions)] または [サポート対象外 (Not Supported)] を選択します。</p>
NAC 状態 (NAC State)	<p>特定のネットワーク アドミッション コントロール (NAC) 状態によって識別されたクライアントを検索するには、このチェックボックスを選択します。</p> <p>(注) チェックボックスの選択後に、ドロップダウン リストから [隔離 (Quarantine)]、[アクセス (Access)]、[無効 (Invalid)]、および [該当なし (Not Applicable)] のうち適切なステートを選択します。</p>
関連付けなしを含む (Include Disassociated)	ネットワークに存在しないが、Prime Infrastructure に履歴レコードが保持されているクライアントを含めるには、このチェックボックスを選択します。
ページあたりの項目数 (Items per page)	検索結果ページに表示するレコードの数を設定します。

チョークポイントの検索

チョークポイントの高度な検索の実行時に、次のパラメータを設定できます(表 A-11 を参照)。

表 A-11 チョークポイントの検索フィールド

フィールド	オプション
検索方法 (Search By)	[MAC アドレス (MAC address)] または [チョークポイント名 (Chokepoint Name)] を選択します。 (注) 検索パラメータは、選択したカテゴリによって変わることがあります。適用可能な場合は、[検索条件 (Search By)] カテゴリの特定に役立つよう、追加のパラメータまたはフィルタ情報を入力します。たとえば、[MAC アドレス (MAC address)] を選択した場合は、この検索の特定の MAC アドレスを入力する必要があります。

イベントの検索

イベントの高度な検索を実行する際に、次のパラメータを設定できます(表 A-12 を参照)。

表 A-12 イベントの検索フィールド

フィールド	オプション
重大度 (Severity)	[すべての重大度 (All Severities)], [クリティカル (Critical)], [メジャー (Major)], [マイナー (Minor)], [警告 (Warning)], [クリア (Clear)], または [情報 (Info)], [色分け (Color coded)] を選択します。
イベントカテゴリ (Event Category)	[すべてのタイプ (All Types)], [アクセス ポイント (Access Points)], [コントローラ (Controllers)], [セキュリティ (Security)], [カバレッジ ホール (Coverage Hole)], [不正 AP (Rogue AP)], [アドホック不正 (Adhoc Rogue)], [干渉 (Interference)], [メッシュ リンク (Mesh Links)], [クライアント (Client)], [モビリティ サービス (Mobility Service)], [ロケーション通知 (Location Notifications)], [プリカバレッジ ホール (Pre Coverage Hole)], または [Prime Infrastructure] を選択します。
条件 (Condition)	ドロップダウン リストを使用し、条件を選択します。また、このドロップダウン リストに入力して、条件を入力することもできます。 (注) イベント カテゴリを選択した場合は、このドロップダウン リストには、そのカテゴリで使用可能な条件が含まれています。
すべてのイベント を検索 (Search All Events)	検索結果ページに表示するレコードの数を設定します。

干渉の検索

アクセスポイントによって検出される干渉の高度な検索の実行時に、次のパラメータを設定できます(表 A-13 を参照)。

表 A-13 SE 検知干渉検索フィールド

フィールド	オプション
検索方法 (Search By)	[すべての干渉 (All Interferers)], [干渉源 ID (Interferer ID)], [干渉カテゴリ (Interferer Category)], [干渉タイプ (Interferer Type)], [影響を受けるチャネル (Affected Channel)], [影響を受ける AP (Affected AP)], [重大度 (Severity)], [電源 (Power)], または [デューティ サイクル (Duty Cycle)] を選択します。 (注) 検索パラメータは、選択したカテゴリによって変わることがあります。適用可能な場合は、[検索条件 (Search By)] カテゴリの特定に役立つよう、追加のパラメータまたはフィルタ情報を入力します。
検出条件 (Detected By)	[すべての Spectrum Expert (All Spectrum Experts)] を選択するか、ドロップダウン リストから特定の Spectrum Expert を選択します。
過去(時間内)に検出されたもの (Detected within the last)	干渉検出の時間範囲を選択します。時間範囲は、5 分～ 24 時間または [すべての履歴 (All History)] です。
干渉状態 (Interferer Status)	このドロップダウン リストから [すべて (All)], [アクティブ (Active)], または [非アクティブ (Inactive)] を選択します。
無線帯域/チャネルによる制限 (Restrict by Radio Bands/Channels)	無線帯域またはチャネルによる検索を設定します。
ページあたりの項目数 (Items per page)	検索結果ページに表示するレコードの数を設定します。

Wi-Fi TDOA 受信機の検索

Wi-Fi TDOA 受信機の高度な検索を実行する際に、次のパラメータを設定できます(表 A-14 を参照)。

表 A-14 Wi-Fi TDOA 受信機検索フィールド

フィールド	オプション
検索方法 (Search By)	[MAC アドレス (MAC Address)] または [Wi-Fi TDOA 受信機名 (Wi-Fi TDOA Receivers Name)] を選択します。 (注) 検索パラメータは、選択したカテゴリによって変わることがあります。適用可能な場合は、[検索条件 (Search By)] カテゴリの特定に役立つよう、追加のパラメータまたはフィルタ情報を入力します。

■ 検索方法

マップの検索

マップの高度な検索を実行する際に、次のパラメータを設定できます(表 A-15 を参照)。

表 A-15 マップ検索フィールド

フィールド	オプション
検索対象(Search For)	[すべてのマップ(All Maps)],[キャンパス(Campuses)],[ビルディング(Buildings)],[床面積(FloorAreas)],[または][屋外区域(OutdoorAreas)]を選択します。
マップ名(Map Name)	マップ名で検索します。テキスト ボックスにマップ名を入力します。
ページあたりの項目数(Items per page)	検索結果ページに表示するレコードの数を設定します。

不正クライアントの検索

不正クライアントの高度な検索を実行する際に、次のパラメータを設定できます(表 A-16 を参照)。

表 A-16 不正クライアント検索フィールド

フィールド	オプション
クライアントの検索条件(Search for clients by)	[すべての不正クライアント(All Rogue Clients)],[MAC アドレス(MAC Address)],[コントローラ(Controller)],[MSE],[フロア領域(Floor Area)],[または][屋外領域(Outdoor Area)]を選択します。
検索場所(Search In)	[MSE(MSEs)] または [Prime Infrastructure コントローラ(Prime Infrastructure Controllers)] を選択します。
状態(Status)	チェックボックスを選択して、ドロップダウンリストから [アラート(Alert)],[阻止(Contained)],[または][脅威(Threat)] を選択して、検索基準にステータスを含めます。

回避クライアントの検索



(注) 有線ネットワーク上の Cisco IPS センサーが不審なクライアントまたは脅威的なクライアントを検出した場合は、そのクライアントを回避するようにコントローラに警告します。

回避クライアントの高度な検索を実行する際に、次のパラメータを設定できます(表 A-17 を参照)。

表 A-17 回避クライアント検索フィールド

フィールド	オプション
検索方法(Search By)	[すべての回避クライアント(All Shunned Clients)],[コントローラ(Controller)],[または][IP アドレス(IP Address)]を選択します。 (注) 検索パラメータは、選択したカテゴリによって変わることがあります。適用可能な場合は、[検索条件(Search By)] カテゴリの特定に役立つよう、追加のパラメータまたはフィルタ情報を入力します。

タグの検索

タグの高度な検索を実行する際に、次のパラメータを設定できます(表 A-18 を参照)。

表 A-18 タグ検索フィールド

フィールド	オプション
タグの検索条件 (Search for tags by)	[すべてのタグ (All Tags)], [アセット名 (Asset Name)], [アセット カテゴリ (Asset Category)], [アセット グループ (Asset Group)], [MAC アドレス (MAC Address)], [コントローラ (Controller)], [MSE], [フロア領域 (Floor Area)], または [屋外領域 (Outdoor Area)] を選択します。 (注) 検索パラメータは、選択したカテゴリによって変わることがあります。適用可能な場合は、[検索条件 (Search By)] カテゴリの特定に役立つよう、追加のパラメータまたはフィルタ情報を入力します。
検索場所 (Search In)	[MSE (MSEs)] または [Prime Infrastructure コントローラ (Prime Infrastructure Controllers)] を選択します。
以内で最後に検出されたもの (Last detected within)	時間増分を 5 分～ 24 時間の間で選択します。デフォルトは 15 分です。
タグベンダー (Tag Vendor)	このチェックボックスを選択して、[Aer Scout]、[G2]、[PanGo]、または [WhereNet] を選択します。
テレメトリタグのみ (Telemetry Tags only)	適宜にタグを検索するには、[テレメトリタグのみ (Telemetry Tags only)] チェックボックスをオンにします。
ページあたりの項目数 (Items per page)	検索結果ページに表示するレコードの数を設定します。

デバイスタイプの検索

デバイスタイプの高度な検索を実行する際に、次のパラメータを設定できます(表 A-19 を参照)。

表 A-19 デバイスタイプ検索フィールド

フィールド	オプション
デバイスタイプの選択 (Select Device Type)	[すべて (All)], [スイッチとハブ (Switches and Hubs)], [ワイヤレスコントローラ (Wireless Controller)], [統合 AP (Unified AP)], [自律 AP (Autonomous AP)], [アンマネージド AP (Unmanaged AP)], および [ルータ (Routers)] を選択します。
デバイス IP の入力 (Enter Device IP)	[デバイスタイプの選択 (Select Device Type)] フィールドで選択したデバイスの IP アドレスを入力します。

設定バージョンの検索

設定バージョンの高度な検索を実行する際に、次のパラメータを設定できます(表 A-20 を参照)。

表 A-20 設定バージョン検索フィールド

フィールド	オプション
タグを入力 (Enter Tag)	タグ名を入力します。

保存した検索の実行



(注) 保存した検索は、現在のパーティションのみに適用されます。

以前に保存した検索にアクセスして実行するには、次の手順に従います。

- ステップ 1 [アプリケーション検索 (Application Search)] ボックスのアイコンをクリックし、[保存した検索 (Saved Search)] をクリックします。
- ステップ 2 [カテゴリの検索 (Search Category)] ドロップダウン リストからカテゴリを選択し、[保存した検索のリスト (Saved Search List)] ドロップダウン リストから保存されている検索を選択します。
- ステップ 3 必要に応じて、保存されている検索の現在のパラメータを変更し、[実行 (Go)] をクリックします。